

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36789	
事業名	まちづくりセンター・地区会館保全リニューアル費						
評価担当課	所属	市)地域振興部 区政課			電話番号	011-211-2252	
施策名	地域活動を活発化する環境づくり						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	人口減少・少子高齢化社会の到来に対応するための公共施設の適切な維持管理が必要となる中、まちづくりセンター・地区会館については、施設の老朽化にどのように対応していくかが課題となっている。その課題に対応するため、市有建築物の配置基本方針の考え方に基づき、多世代交流の創出による地域コミュニティの維持・活性化に向けて、小学校の改築に合わせてまちづくりセンター・地区会館及び地域会議室の小学校への複合化を進めている。小学校複合化の対象とならないまちづくりセンター・地区会館については、保全延命化により地域活動の拠点としての機能を維持するため、保全改修や改築を実施している。					
	事業内容(何を実施し)	多世代交流を促進するため、小学校の改築等に合わせ、まちづくりセンター・地区会館及び地域会議室を併設するとともに、小学校複合化の対象とならないまちづくりセンター・地区会館については、保全延命化により既存施設の機能を維持するとともに、地域活動の更なる活発化を目指し、人が集いやすい施設とすることを目的としてリニューアル改修及び全面改築を実施。 【R6年度実施内容】 <小学校複合化関係> ・山の手まちづくりセンターの小学校複合化に伴う事務室移転 <保全リニューアル関係> ・設計2件(八軒まちづくりセンター・地区会館、稲穂金山まちづくりセンター・地区会館) ・工事1件(苗穂まちづくりセンター・地区会館(令和5年度からの繰越分)) <改築関係> ・工事1件(曙まちづくりセンター・地区会館)					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	小学校への併設によって施設の機能維持を図り、多世代交流の場を設けることでまちづくり活動を促進するとともに、保全延命化によりリニューアル改修等を行うことにより、地域人たちが集いやすい施設になることで、地域コミュニティ活動の更なる活性化につなげる。					
	他都市の状況	まちづくりセンター及び地区会館は、本市の独自施設であり、直接比較できる取組みはない。					
	市民参加の実施	□ 企画 □ 実施 □ 評価 ■ 対象外					
令和5年度決算額	204,704 千円	うち特定財源	34,000 千円	正規職員業務量	3.3 人工		
令和6年度予算額	282,000 千円	うち特定財源	224,067 千円	正規職員業務量	3.3 人工		
令和6年度決算額	251,035 千円	うち特定財源	23,067 千円	正規職員業務量	3.3 人工		
令和7年度予算額	164,000 千円	うち特定財源	4,000 千円	正規職員業務量	3.3 人工		
指標	アウトプット活動指標1	保全リニューアル事業の工事実施施設数			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		2	0	0	3	3	3
	アウトカム成果指標1				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和6年度は新規で実施した工事はなし(令和5年度から繰越分のみ実施)、令和7年度以降、アクションプランで計画した施設の工事を実施していく。					
	アウトプット活動指標2	小学校併設地域交流施設基本設計着手施設数			という活動、業務を行うことで		
令和5年度実績		令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
	14	14	14	15	17	17	
アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	令和6年度は基本設計着手施設はなし。令和7年度以降も引き続き、改築される小学校から地域交流施設の複合化の対象となるかを確認し、地域の意向も踏まえたうえで複合化を検討していく。						
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	引き続き、現在の規模及び手法により保全延命等のための改修、または小学校の改築に合わせて地域交流施設の複合化を進めていく。						